

こどもが選ぶ、友だちにすすめたい本

～うつのみやこども賞～

宇都宮市立中央図書館(栃木県宇都宮市)

URL: <https://www.lib-utsunomiya.jp/>

テーマ

その他(図書館の独自性ある子どもの読書推進事業の実施により、出版社、書店等がそれぞれの事業を展開している事例)

取組概要

本市では、子どもの読書活動推進の一環として、昭和59年から子どもによる児童文学作品評価を行い、受賞作品を決定し、子どもたち自身が作家を表彰する「うつのみやこども賞」事業を実施。当該事業を受け、出版社や書店等が受賞作品を活用し、各々の事業展開に繋げている。

取組詳細

■本市の事業「うつのみやこども賞」について

選定委員は毎月4タイトルの本を読み、月1回開催する選定会議で協議し、「月の本」を選定する。3月の選定会議において、その年度の「月の本」からもっとも友だちに薦めたい本として「うつのみやこども賞」を決定する。翌年度には表彰式と受賞作家による記念講演会を開催。作家を子どもが表彰する事業は、全国でもめずらしく、独自性のある取組である。

■うつのみやこども賞の活用

選定会議で選定した「月の本」は、「うつのみやこども賞だより」を発行し、市内の全小学校に配信して紹介するとともに、図書館ホームページへの掲載、各図書館等での配布により周知、また、図書館に「うつのみやこども賞コーナー」を常設している。

■出版社・書店等の展開

- ・受賞作品の出版社では、自社のホームページ等で歴史ある児童文学賞として「うつのみやこども賞」を紹介するとともに、受賞回数を明記するなどし、出版社として児童文学作家の創作意欲向上に向けた協力をしている。
- ・市内の書店では、受賞作品コーナーを設置して「うつのみやこども賞」を始めとする作品紹介をしている。
- ・受賞した作家は、自身の作品経歴に「うつのみやこども賞受賞」と記載している作家も多くなり、認知度も高まってきている。

■表彰式・受賞記念講演会

年度末に「うつのみやこども賞」を決定した翌年度に、選定委員をはじめ一般市民等を招き受賞作家による記念講演会を開催。また、受賞作家への質問タイムを設けるなど、選定委員・参加者に読書体験だけではわからない作家の作品への思いなどを知ってもらい、今後の読書意欲の喚起につなげている。



3月の選定会議の様子



第39回受賞記念講演会での表彰式

基本データ

(数値は令和5年現在)

住所 栃木県宇都宮市
明保野町7-57

人口
(図書館が所在する市町村)
約 51万人

職員数(うち有資格者数)
57人(16人)

蔵書数
約 58 万冊

取組の成果と今後

- ・本市児童の読書量推計が全国平均の2.5倍、図書館での児童書の貸出冊数でも中核市でトップクラスであることなどの成果は、この事業も寄与していると捉えている。
- ・40回目の「うつのみやこども賞」が決まり、令和6年度には40周年記念事業を開催予定。これまで築いてきた出版社や書店等との関りの集大成となるような内容で企画をしていく。また、うつのみやこども賞事業は今後も継続しながら、出版社、書店等と相乗効果が生み出せる事業展開を検討していく。